

選択したシラバスのプレビュー画面です

平成27 年度

[操作ボタン]

講義科目名称 : 日本語学概論 I

授業コード : 24007

英文科目名称 : ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
前期	講義	2単位	
曜日時限			
前期: 火曜4限			
配当学科・学年			
教育1			
担当教員			
大槻 美智子			

授業テーマ	日本語の特徴に関する知識を獲得し、日本語への理解を深める。
講義概要	国語科を担当する教師として知っておいて欲しい〈日本語の特徴〉を学びます。 特に、前期は、日本語の音・語種・文の構造について、教科書や身近な例を使いながら知識を獲得することをめざします。
到達目標	1 日本語の「音声・音韻」の諸特徴について理解し説明できる。 2 日本語の語種（特に外来語）のあり方について理解し説明できる。 3 日本語の文構造について理解し説明できる。
評価方法	各トピック終了時に課す課題・小テスト（40%） 定期試験の結果（60%）で評価する。
評価基準	1 ① 日本語の発音の特徴を説明できる。 ② 音声と音韻の区別を日本語の例を使って説明できる。 ③ 日本語の音節の特徴について説明できる。 2 日本語を構成する語種との特徴について説明できる。 3 日本語の文構造の基本を理解できる。
テキスト	特に指定しない。
参考書	窪園晴夫 1999『日本語の音声』岩波書店 斎藤純男 2006『日本語音声学入門 改訂版』三省堂 森田良行ほか 1989『ケーススタディ日本語の語彙』桜楓社 寺村秀夫ほか 1987『ケーススタディ日本文法』桜楓社
履修上の注意	板書しなくとも、説明の言葉はノートにとること。 内容が盛り沢山なので、きちんと復習して消化するよう努力すること。
準備学習	講義後によく復習すること。
オフィスアワー等	授業終了時、およびコメントカードへの記入で対応する。
備考・メッセージ	日本語に関する基礎的知識を学習するので、「学校教育専攻」の学生は履修して下さい。 中等教育実践コース、学校教育臨床コースの選択必修科目です。

授業計画				
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標
1	講義	大槻	オリエンテーション 日本語学概論とは何か。 シラバスの熟読 講義の進め方	日本語学の研究領域と本講義の関係について理解する。 国語科と本講義の関係について理解する。 シラバスを熟読し、講義の目標・評価・講義の進め方などについて理解する。
2	講義	大槻	日本語の音（1） 発音のしくみ	発音器官・発音部位・発音方法などの名称を知る。 母音と子音の違いについて理解する。 日本語の発音のしくみを理解する。
3	講義	大槻	日本語の音（2） 音声と音韻	音声と音韻の違いについて理解する。
4	講義	大槻	日本語の音（3） 日本語の音節	日本語の音節の特徴がモーラにあることを理解する。 モーラとシラブルの違いを知る。 日本語の音節の特徴が、撥音・促音・長音などの「特殊音」にあることを理解する。
5	講義	大槻	日本語の音（4） まとめ	日本語の音に関する課題に対してまとめて述べができるとともに、質疑応答を行い、知識を定着させる。
6	講義	大槻		日本語の語種（和語・漢語・外来語・混種語）を知る。

			日本語の語彙（1） 語種と音①	それぞれの語種と音節から見た特徴を理解する（撥音）。		
7	講義	大槻	日本語の語彙（2） 語種と音②	それぞれの語種の音節から見た特徴を理解する（語頭音）。		
8	講義	大槻	日本語の語彙（3） 語種と音③	それぞれの語種の音節から見た特徴を理解する（ラ行音）。		
9	講義	大槻	日本語の語彙（4） 外来語の受容	外来語の範囲を知る。 外来語受容の問題点（意味的側面）を理解する。		
10	講義	大槻	日本語の文構造（1）述語	述語こそが文の中核であることが理解できる。		
11	講義	大槻	日本語の文構造（2）主語	主語と呼ばれているものの種類について理解する。		
12	講義	大槻	日本語の文構造（3）修飾語	連体修飾語の種類について理解する。 連体修飾語の働きを分類する。		
13	講義	大槻	日本語の文構造（4）修飾語	連用修飾語の種類について理解する。 連用修飾語の働きを分類できる。		
14	講義	大槻	日本語の文構造（5）修飾語	連用修飾語の働きから、品詞分類につなげられる。		
15	講義	大槻	日本語の語彙・ 日本語の文構造 まとめ	日本語の語彙と文構造に関する課題に対してまとめて述べができるとともに、質疑応答を行い、知識を定着させる。		

授業方法

	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
	講義	教室	1	資料を配付する	90分×15

閉じる